

◆2015年度日越交流大阪大会【企業視察・訪問】

VCCI（ホーチミン商工会議所）一行は、株式会社桃谷順天館（本社：大阪市）岡山工場を視察させていただき、日本の生産現場を見ることができて、大変感激を受けました。日本の化粧品はベトナムで大変人気があり、桃谷順天館の商品をたくさん購入されました。



来日期間中にはいくつかのグループに分かれ、各社に訪問させて頂きました。

《カクイ株式会社》（本社：鹿児島市）》県内の企業にもお声をかけていただき、夜は懇親会を開催しました。具体的なビジネスについての案件もでてきたようです。

《山陽株式会社》（本社：八尾市）本社工場》

《株式会社多久製作所》（本社：東大阪市）》

関西工場を視察させていただきました。



《株式会社レイ・ビューティ・ヘルス研究所》（本社：東京都）》
エステ体験させていただきました。ベトナムでは機械を使用した施術が主流となっているため、今回の日本の技術に感動されたようでした。



今回の来日では企業交流の他、大阪・京都・東京を観光され、日本の文化に触れ、そして日本の商品もたくさん購入されました。日本を理解されることでより一層活発にビジネスマッチングが進められています。

◆「日本産業人の心得」大学での講座開設

ホーチミン師範大学の日本語学科で講座を創ります。将来的には、「産業人の心得」▷「仕事辞典」▷「実践管理」と展開し、使用するテキストは、日本語とベトナム語を併記して出版し、一般にも販売する予定です。

◆国際カンファレンスに参加／ベトナム

英国、オーストラリア、シンガポール、マレーシアの医療機関・病院、そして国防省所属の主要な病院が参加して2年に一回開催されている研究発表会がホーチミンの175病院大ホールで開催されました。協賛企業等のブースもあり、日本からも製薬会社2社がブースを出していました。

来賓の紹介と挨拶から始まり、日越医療介護協議会が日本からの来賓として唯一紹介されました。ベトナム政府の首脳陣、シンガポール派遣団に続いて沢山の中でも5番目の紹介でした。

日越医療介護協議会はBSOが発起人となり175病院はじめ、日越の病院や大学、企業がコラボレーションし、ベトナムにて日本の医療介護病院設立に向けて活動しています。

◆ビジネスモデル開発力、企業存続要件に

既存の保有経営資産や新資産の追加、さらには他社とのコラボで活用する新資産は、新時代の経営のために、組み替えたり、再構築する必要があります。まさに、現代企業ではビジネスモデルの開発技術が不可欠になってきました。

◆東京オリンピック（2020年）まで

東京オリンピックは日本だけではなく、世界にも影響を及ぼすことになります。

①中国の踊り場現象（中国の構造変化）：旧時代から新時代へ移行しており、「量の成長」から「質の変化」で次につなげる必要があります。2世社会（権力の問題）から、2頭世界（中華思想）に変化しようとしており、これからは中国とアメリカの社会、それ以外は+αとなるでしょう。

②アメリカの資源国家：シェル資源の採取技術、量産技術が完成すれば強みになります。そしてアメリカでは労働生産性を上げる（=自動化）をいかにするかに取組んでいるため雇用は拡大し難いですが、知的生産性は大きくなり、株、投資などが増え、金融産業に影響を及ぼします。

③新興国の動き：A I I B（アジアインフラ投資銀行）とT P Pの対立となるでしょう。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただこうに発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）